

令和3年度 学校教育目標

仲間と未来を創造し 自ら挑む子どもを育てる

～ やる気 粘り強さ、思いやりの心 ～

目指す子ども像

- ◎自分の思いを表現できる子（はなす かく）
- ◎他者と協働し行動できる子
- ◎命を大切にできる子（生き方・人権・生命）
- ◎挑むことができる子

学級づくり、学校づくりは 教育環境づくりから

* 教室の整理整頓

学習環境を整える：子どもたちが学ぶ場

- ・授業に集中できる環境を設定する。
- ・教室内の学習空間を十分に活用する。

* 時間を大切にする（学習時間・休憩時間・給食時間）

* 指導者の言動は、子どもの学習環境の一つ（丁寧さ・温かさ）

* すっきりとした掲示板（子どもの目線に立って）

確かな学力（基礎的な学力と学びに向かう力）

* 授業の充実：指導と評価の一体化（PDCA）

- ・基礎基本の徹底（家庭学習との連動）
- ・話す・聞く・読む・書く力を教科横断的・計画的に指導する。
- ・学んだ意味や価値（社会や生活とのつながり）を実感できるよう指導する。
- ・俯瞰的に自己を見つめ、成長を感じる場面を設定する。（学習のふりかえり）

◎情報活用能力を育む

①教科横断的・計画的に指導する。②端末使用のきまりを指導する。

* 情報を正しく、上手に利用できる力を育成する。

A :『情報の収集』『まとめ・表現』 B :『情報セキュリティ』

◎3年生からタイピングの練習を取り入れる。

◎高学年ではワープロ機能を利用して作文指導をする。

◎高学年の算数科では、計算機を活用し課題解決にあたらせることで、学習の本質に迫らせる。

- ・低、中学年では、四則計算の意味や計算練習を徹底して指導する。

総合的な学習の時間を大切にする

1 課題を見つける 2 解決方法を考える 3 粘り強く、協働的に解決する
4 表現方法を選び、相手に伝える 5 更なる課題を見い出す 6 深い思考へ

健やかな体

- * 『自分の体は自分で守る』という安全指導を実践する。
- * 北醍醐オリンピックを企画実行する。(感染症対策と同時に)
- * 飲酒や喫煙、薬物などの保健指導を徹底する。
- * 食に関する意識を高める指導を実践する。

豊かな心

- * 道徳教育：行事や学習との関わりで教科横断的に計画的な指導をする。
 - ・ 重点目標：思いやりをもち、自律的に善悪を判断し責任を果たす。
 - ・ 重点項目：A 善悪の判断、自律、自由と責任 B 親切、思いやり
年間に 2 回の公開授業（土曜参観などで）
- * 人権教育：多様性を理解する学習内容や学習方法を念頭に計画する。
- * 生徒指導の三機能を意識した授業づくりや学級経営をする。
自己決定力・自己存在感・共感的人間関係の視点を意識し指導する。